

えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

November 2021

Écoutez Bien Vol.38 No.440

11

統計から今を語る



子持ち鮎

玉川は江戸に出がけに米をつき

春に稚鮎となって川を遡上し、櫛のような歯で川底の石についた藻を食べて成長する。

「香魚」という別名を持つ鮎は、エサとなる藻が風味に影響するらしく、どの川で育ったかで味も香りも違うらしい。多摩川にもかつて「上ゲ鮎御用」があった。將軍の御膳の鮎は、どんな味がしたのやら。

玉川ハ江戸へ出がけに米をつき

『誹風柳多留』にこんな川柳がある。『誹風柳多留』とは明和二年（一七六五）に初めて板行された川柳万句合の秀歌集。「多摩川の人は江戸へ出てくるとすぐ米を搗いているよ」という意味だ。延享二年（一七四五）、將軍吉宗が子持ち鮎を好きだったというところから始まった「上ゲ鮎御用」。立川を含む多摩川の上流から中流にかけて、「上ゲ鮎御用をやります」と手を挙げた御用請村が、組合を作って鮎を捕り江戸へ運ぶシステムがあった。將軍に献上する鮎を捕っている時期は、御留川とされ、一般人は鮎を捕ることはできない。川沿いに生簀の箱を作り漁獲した鮎を囲っておく。決められた期日前夜、鮎籠に鮎を入れ急ぎ馬で江戸に向かう。川魚は足が速いので、江戸に入ると一目散に江戸城の「御春屋」という食糧倉庫に運んで行くのだが、その様子を江戸の人が見て茶化して川柳にしたのが先の句。

さて、吉宗が好きだったという子持ち鮎は「下り鮎」とも「落ち鮎」「錆び鮎」とも呼ばれる腹に卵を抱えてぼつてりした鮎。江戸城への納入は旧暦八月末から九月、何回かに分けて行われ、年間の上納数は千百〜千三百匹だったという。

また、国文研に所蔵される祭魚洞文庫旧蔵水産史料



『武蔵国多摩郡五日市村文書』の中の一点で、天保十三年（一八四二）八月に村内の三組の漁師仲間二十三名が鮎の漁業方法などを取り決めた『玉川漁師仲間定書』には、上ゲ鮎御用に際して権威がましい行為をしないこと、仲間の者は鮎の「捕生」（漁獲して生簀で活かしておくこと）に出精することなど、幕府の御用を滞りなく勤めるようにすることや、このほか具体的な漁法についても細かく申し合わせが行われている。

さて、平成三十一年一月に亡くなられた立川の文化人、三田鶴吉さんは多摩川の鮎についてこんなことを話していた。「桜を観る頃では鮎はまだ大きくならない。鮎はやっぱり紅葉だね。コイ科の魚は春だけ、サケ科の魚は秋が旬。群衆がつくと言うけれど、秋のお彼岸の終わった頃にこんなに捕れていいのかというくらい捕れたことがあった。落ち鮎は古銀色で、それがもう二十五センチから三十センチで、ひとつの竿に二匹もかかっていたね。多摩川の淵の苔をたっぷり食べて大きくなったんだね。」

吉宗に献上された多摩川の鮎、本当に美味しかったに違いない。

ありとあらゆることが 統計の対象です

統計数理研究所 椿所長に聞く

コロナ禍に統計の重要性を感じる。
それも即時性を伴って。
その分析を専門にする統計数理研究所へ行ってきた。

——2015年に、当時情報・システム研究機構
長でいらした北川源四郎先生から、椿所長が
なさっていた京都の観光ビッグデータの話を知
りました。

椿 同じ機構に属する統計数理研究所と国立
情報学研究所が一緒にやっていたプロジェクト
ですね。今まででしたら観光統計といって調
査票をお配りして集計していたのものを、イン
ターネットで京都の宿泊予約状況などが、しか
も毎日リアルタイムで可視化できるようになり
ました。これはすごく大きなことでした。あれか
ら6年経って、今は圧倒的に情報収集技術は優
れた状況になっています。その先駆けとなっ
た研究でした。

——北川先生は2009年に世界的流行をみた新
型インフルエンザから、パンデミックの研究を
されていた齋藤正也先生のお話もされていま
した。今回のコロナでも統数研はお忙しいの
ではないですか。

椿 今は若い人たちが私よりずっとデータ
解析の力がありますから、所長手伝えという形
で、猫の手になって手伝っています。

——まさか、猫の手ではないでしょうか(笑)。

椿 去年の2月頃に、これは大変なことになる
かもしれないから、研究所の中でボランティア
にコロナの分析をやらうと。東京都だけじゃ
なくて、もちろん23区、立川市のデータも毎日
収集して、統数研を越えていろいろな大学の先
生方、統計だけでなく測定や検査の専門家な
ども、もちろん齋藤正也先生も加わってやっ
ています。猫の手の立場で言わせていただくと、
去年の2月から国が正式にコロナの肺炎を死
因として認めたのですが、死亡診断書に基づ
くコロナでの死者数というのは月ごとに出る
んで

す。そうすると、メディアがいう毎日の死者
数と月次の数とは最大15%くらい違うん
です。メディアがスピード感持って一生懸命集
計しているのは頭が下がるくらい重要なこと
で、我々もそのデータがあるから統計モデル
を用いた分析とかもできているのですが、や
はりデータにはそういう偏りがあるというこ
とを、ある程度前提におかないといけな
いんです。

——メディアはどうやって集計しているの
ですか。
椿 各自治体が公表しているデータを自ら
集計されているのだと思います。善意でやっ
ていてもそのくらいのバイアスが出てくる。
ですからちょっと意図的にやればいくらでも
ひどいデータは出てくるということです。デー
タって客観的な事実のように思われています
が、実は怖いもので、データをきちんと取
るとのこと、しかもそれを速さと両立させる
ということは本当に難しい。これからはデー
タの時代だと言っているんで、そこは相当真
面目に議論しなければならないことだと思
います。

——統数研ではどんなことをされるの
ですか。
椿 データが見えるがままに可視化すること
が大切で、その次に予測などするためのきち
んとしたモデルを作る。私がやっているのは、
感染者数7日間平均何人とかいうものを、こ
のデータだったら一番滑らかに見える、それ
を自動的にやってあげる、統計的にやってあ
げる、そんなことをしています。一番素朴な
分析です(笑)。若い人たちは、それに対する
人流の影響や、県と県の移動がどのくらい
コロナの増加につながっているかとか、マ
スクの効果などを、それぞれの立場でやっ
てくださっています。

——マスクなんて効果ないという人もいま
すが。

椿 今回は大なる社会実験になりました。ア
メリカが初めてマスクをつけるようになった。
民主党の知事のいる州ではマスクの義務化、
共和党知事のところはマスクをしない。マ
スクを義務化してからどう推移したかが割
と単純な方法で見えるんです。この話は私
ではなく鈴木和幸先生(電気通信大学名誉
教授)に訊くといですよ。鈴木先生は初期
の段階からマスクの必要を説いていて、そ
れだけで経済的ダメージを防ぐことができ
るとおっしゃっていたんです。

私は統数研の猫の手以外にも、去年の8
月くらいから自殺者の動きがおかしいとい
うことで、こちら猫の手ではないですが、
データの場所若くは人たちが籠って、ど
ういう分析をやったらいかなどとやって
いました。

——プロフィールに日本自殺総合対策学
会ってあって、ちょっと驚いていました。

椿 始めに呼ばれた時の異常な動きとい
うのが、東京都において自殺者が激減して
いるということでした。それが第一波の緊
急事態宣言が発令された時でした。秘匿性
の高いデータなので、そこにいる方たち
以外は直接分析することができない極め
て機微なデータなのです。この10数年
間、日本は自殺者数をものすごくきちん
と減らすことに成功してきていたんです。
年間3万あったものが2万くらいになっ
て。ところが、東京を中心に減少していた
のが、しばらくすると女性に反転が生じ
て4~5年前の自殺率になってきた。コ
ロナの第一波が終わった辺りから次第に
上がりました。

それから1年も経っていますし、先ほど
話したように、死亡診断書に基づくデー
タは8カ月、9カ月遅れて発表されます。
自殺者も本

つばき ひろえ
椿 広計氏

情報・システム研究機構理事・統計数理研究所長。1956年東京都出身。工学博士、専門は応用統計学。東京大学、慶応大学、つば大学、同大学院などで教鞭をとり、2005年からは統計数理研究所リスク解析戦略研究センター長を、2010年からは同研究所副所長を兼任、2011年~2015年統計数理研究所データ科学研究系教授、2015年~2019年統計センター理事長、2019年より現職。傍ら、これまでも多くの役職を歴任、現在は筑波大学・統計数理研究所・総合研究大学院大学の名誉教授でもあり、総務省統計委員会委員、日本学術会議連携会員、横断型機関科学技術研究団体連合副会長、応用統計学会理事、統計センター顧問、品質工学会会長、データサイエンティスト協会顧問、日本自殺総合対策学会理事長なども務める。

とても謙虚な方という印象だ。高校は通称「筑駒」。あれ?国文研の渡部館長と、と言いかけたら「たぶん同期です」と。月に一回顔を合わせるのにお互いその話題には触れないらしい。

当は厚労省の死亡票に基づくデータなら遅れて
しまうのですが、警察庁の捜査データが自殺
統計にはあって、それはひと月くらい遅れで使
えるのです。でもこれはあくまでも行政情報で
すので、死亡診断者のデータとはいろいろな意
味で偏りがあると思うのですけれど。
——急に女性が自殺した時期って何があった
のでしょうか。

椿 芸能人の方の自殺がありました。それを見
るとコロナと同じで、普通滑らかな推移が見
られるのですが、そこだけ突出しているのです。
それをトリガーとして亡くなられたというより
も、その方が亡くなられたことが報道で伝わる
ことによって、ファンというより苦しい状況に
ある方が自殺されたのだらうなと想像されま
す。それは統計的にも偶然ではない。

——コロナとの関わりもあり、難しい問題
ですね。

椿 今回はコロナからスタートして経済的
にも大きな影響を与え、メンタルにももの
すごく大きな影響を与えたということで、本
当は複合的なシステムとして社会が統計的に
表現できることが重要なんです。それをきち
んと見極める時間軸と、何か対策を打たねば
ならないという時間軸とがまったく違うもの
ですからね、こち猫の手ではないですが、
データの場所若くは人たちが籠って、ど
ういう分析をやったらいかなどとやって
いました。

——今回身近な人がコロナ陽性で宿泊療
養をしたのですけれど、宿泊療養後はPCR
検査しないんです。

椿 感染してから何日か経ってPCRで
陽性になってももう感染力はないという
判断なんです。コロナの性質がかなりわか
ってきたので。1年半前ならともかく、今
は、変異株もあるかもしれないけれど、ウ
イルスの性質がわかってきたからどう行
動制限すべきかについては、だいぶ賢くな
ってきていると思います。中国はデータに
基づいてそういう政策をしています。発症
前の感染力が高いということがわかってい
るので、中国は濃厚接触者の範囲を広げて、
徹底的にそこだけ管理するというやり方で一
貫してやっています。中国が出している論
文とやっている政策に整合性はありますね。
——いろいろな専門家が自由に意見する
状況で、カオスですね。

椿 統数研ではリスク解析というものを
やっています。分析結果に基づいて対応す
るというのがオーソドックスなんですが、エ
ビデンスが集まらない時、データが上が
ってくるまでにリスクが高まって取り返
しのつかないことになる場合には、予防
原則というものが使われます。一番先に
予防原則が発動されたのは地球温暖化で
した。今回のコロナに関しても、その予
防原則的なものは発動されていると思
います。この予防原則が公衆衛生、医療
の分野でも必要だし、経済の分野でも自
殺の分野でも必要。それぞれ処方するの
だけけれど、その副作用がお互いに被っ
ている。公衆衛生的な原則を発動すれば
その副作用が経済に行き、経済側の方
で発動すれば逆に公衆衛生側に悪い影
響を与えて、いろいろな薬を飲み合わ
せておかしくなるような話だということ
が無きにしも非ず。

——まったく悩ましい。ところで今回は
データサイエンティストのお話もして
いただく予定でしたが、紙面が足りな
くなってしまいました。

椿 私はデータサイエンティストの
ひと世代前の古典統計家です(笑)。
——どう違うんですか。

椿 統計家というのは古典的な職業
で、アメリカでは昔からあります。デー
タに基づいて統計的手法でビジネスとか
科学にソリューションを与える。自称
統計家というわけにはいかなくて、ア
メリカの大学院にある統計学の修士
くらいを出ていないとなれません。デー
タサイエンティストは、もう少しデー
タエンジニアリングという



側面が強調されていて、猛烈に膨大な
データがある中で、それを可視化しビ
ジネスソリューションのコミュニケー
ション、意思決定まで。コンピュータ
サイエンスと既存の統計学専攻の両
方からなれるような職種ですね。ア
メリカでその職種をカウントしようと
言い出したのは2018年です。日本
は遅ればせながら、データサイエン
ティスト育成から目指す方向にいく
んでしょうね。

——PCやスマホのワンクリックでも
どんどん情報が集まる。情報を持つ
価値より、どう使うかに価値がある。
でも日本では最近になって大学に
学部ができたとか。

椿 トヨタのやってきた改善運動も
そうですが、改善というのはほとん
どデータに基づく統計的問題解決活
動だったわけで、海外に行くと日本
は改善運動しているからさぞかし
統計が進んでいるんでしょねと言
われます。ある意味非常にいいこ
とをやってくれたと思いますが、実
態はこれからです。学校教育では
残念ながら海外に遅れをとっていま
すし、データサイエンスとかビッグ
データというものに対するリテラシー
とか基礎教育に関しては、海外に
比べるとだいぶ問題があるんです
よ。早急になんとかしようと思
う学部を作ったんです。

——先生は応用統計学で、本当にあり
とあらゆることをされてこられた
そうですね。

椿 ありとあらゆることが統計の
対象なんです。そして圧倒的に人
が少ない。だから工場にも行か
されましたし、環境計測もや
ればPM2.5の許認可もやりました
し、基準を作ることも。少年鑑
別所の再犯リスクの評価とか、
ほとんどの省庁とお付き合い
してきました。

——大変なお仕事ですが、先生、ご
趣味とかおありなんですか。

椿 冗談抜きでデータ解析は趣味
です。そうじゃなかったらやっ
てられないですよ。

引き継いで 新しく

無門庵が培ってきた文化をイノベーションする

無門庵の解体が始まっている。惜しむ声もあるだろう。在りし日を思う人もいるだろう。これからの不安に思う人もいるかもしれない。この地の未来を、立飛ホスピタリティマネジメントの坂本裕之さんに聞いた。

1937年、「空の都」いづれ軍都の花街に、陸軍将校用の高級旅館として出発した無門庵は、太平洋戦争末期、給油で立川飛行場に立ち寄った少年特攻兵なども泊まるようになった。あどけなさの残る少年たちの短い一生に、せめて一度だけでも贅沢をさせてあげたいという将校の優しさだったか。無門庵は1987年に一度その幕を閉じたが、1991年には少年飛行兵の泊まった本館に新館を伴わせて、懐石料理店として再開。以来、2019年4月に閉店するまで、1999年に創業した自家製ビール工場「ファクトリーカミカゼ」とともに地元に親しまれ、慶弔に利用されてきた。

立飛ホスピタリティマネジメント Vice Presidentの坂本裕之氏はこう話す。

「無門庵の歩んできた歴史、培ってきた文化を引き継ぎ、新しい基軸を作っていく。今まで組み合わせたことのないような要素を組み合わせ、新しい価値を生み出していき、新しい結合、イノベーションです。旧無門庵を解体して何もかも無くそうではなく、消防法や建築法をきちんと踏まえて、今まで無門庵が大切にしてきたものをできるだけ残し、記憶の継承をしながら和の雰囲気を中心に、森を見ながらゆっくり時を過ごしていただける場所にして参ります。コンセプトとしては、立川全体を明るい街にしていくという時、立川駅北口にあるSORANO HOTELを『動』としたら、こちらを『静』ととらえる。そのように考えています。」

無門庵が誇った懐石料理は？
「関西発祥の懐石料理に勝るとも劣らない、世界に類を見ない新しい料理をご提供して参ります。」

いつオープンに？
「2022年12月のオープンを目指しています。良質の温泉と、無門庵から引き継ぐ石畳、茶室などに加え新しい良さをご堪能ください。」

進み続ける街〈立川〉に、また新しい名所ができる。歴史と記憶を継承して。

在りし日

法事で



立川青年会議所のキッズドリームチャレンジで小学生の職場体験を受け入れて



解体安全祈願祭



建物



ビール工場



えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 曙町・羽衣町・錦町・柴崎町 のお店です。

- 曙町**
- 多摩水族館524-0288
 - 和菓子 井筒屋522-4433
 - すし 魚正522-3437
 - Cut Studio SOFIA528-3241
 - レストラン いなつき528-1470
 - 立川市女性総合センター アイム528-6801
 - オリオン書房 ノルテ店522-1231
 - 洋食屋 にゅうとん522-3921

- 羽衣町**
- 緑線専門店 プリムベール528-6789
 - たましん 東立川支店524-0611
 - ギリヤレストラン SHUPPOUL519-3923
 - 林歯科医院522-5657
 - 新鮮野菜・惣菜 立川商店522-3565
 - 本・事務用品 泰明堂522-3353
 - 本と文具 ないとう522-3677
 - 赤松タバコ店524-7852
 - BB TAKAOKA521-0236
 - まごころ銘茶 狭山園527-0146
 - お好み焼ともんじゃ焼 こけし526-1267
 - そば たかや595-6922

- 錦町**
- 鳥料理 くし秀522-7692
 - 寿司勝522-4874
 - イタリア料理 トラットリア ソンネ512-8735
 - 中国料理 五十番522-7472
 - 一六珈琲店527-1680
 - 手づくりお菓子 材料専門店 北島こうじ店524-3190
 - new gyoza 1059 餃子天国526-2283
 - パー パル アラディ523-3917
 - CAFE SOMMEILLER527-1440
 - 中国整体院529-1088
 - 日本クッキングスクール522-3440
 - 元祖5本指ソックス専門店 LASANTE540-1616
 - ホテル日航立川 東京521-1111
 - 美容室 アリス525-1100
 - FALCO hair528-2389
 - N HAIR WORLD523-5336
 - 創作料理 cafe & bar 厨~kuriya~595-7449
 - TTM (株)524-5787
 - Bakery Café Crown526-2226
 - 日本空手道 佐藤塾548-7460
 - 三田花店本店524-4187
 - いわさき痛みの整骨院529-5123
 - にしや薬局525-9212
 - たましん RISURU ホール526-1311
 - たましん 錦町支店528-0511
 - カレー店 CHOTA525-1004
 - パン工房 グラティア512-8667
 - そば処 高尾亭522-2710
 - Natural Food Restaurant シェイなほ529-5921
 - Garden & Crafts café0120-412-877
 - 至誠学舎立川527-7734
 - 至誠ホーム527-0031
 - 至誠介護相談センター527-0321

- 柴崎町**
- 諏訪神社522-2968
 - 毎日新聞社グループ (株) 毎日広告社522-6121
 - バスタビーノ はしや521-3386
 - 高島ビル526-0111
 - Hair Room MOON ZETTON523-0961
 - 南武堂剣道具店527-0197
 - ビジネスホテル 小沢屋523-0388

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー! : 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄は
 スマホアプリ「スカパー!番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩 : 11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

里帰りした練習機、一般公開です

2012年に十和田湖から引き揚げられた「一式双発高等練習機」。「一式双発高等練習機」は、第二次世界大戦時の日本陸軍練習機です。1939年、帝国陸軍で高等練習機開発が計画され、その試作指示が立川飛行機に。立川飛行機ではそれまでの生産技術を活かして1940年に試作機を完成、立川飛行機としては初めての双発、全金属製、引込脚の機体でしたが、傑作と評価され1941年陸軍での正式採用となりました。総生産機数は1,342機。ほぼ完全な形で残っている機体は、十和田湖から引き揚げられたこの1機のみ。試作名称の「キ番号」はキ54。

この機体は、1943年に秋田県代飛行場から飛び立ち青森県八戸飛行場に向かう訓練飛行中、トラブルで十和田湖の湖面に不時着、そのまま沈んでしまいました。キ54には練習の目的別に機体にバリエーションがありますが、この機体はキ54甲型で、操縦や航法練習を目的に製作されたと思われる。69年間水中にあったおかげで劣化を免れ、機体の日の丸の塗装も鮮やかです。引き揚げ後、青森県三沢航空科学館で展示されていましたが、2016年7月に立飛HDの村山社長が同科学館を訪問した際、この機体の「里帰り」が話題に。2020年11月に立川へと戻ってきました。空気に触れることによる劣化は免れないのですが、手を加えて保存するよりも、そのままの姿を見てもらいたいという立飛HDの意向で、今回の一般公開となりました。

世界に一機しか現存しない「一式双発高等練習機」、しかも今回は引き揚げの際に胴体が割れてしまった効用で、機体内部を見ることが出来ます。輸送にも使われたと言われる機体、中が広く9人くらいを乗せることができたと言われています。尾翼に残る飛行第38部隊の「三八」のデザインや、星形のエンジン、操縦席、立川飛行機の銘板など実物をご覧ください。

一般公開は以下の通りです。

期間：11月25日(木)～11月28日(日)

時間：10時～16時(受付は15時45分まで)

場所：立飛南地区 5号棟

備考：

入場無料、検温・消毒・マスクの着用にご協力お願いします。

自動車、バイクでのご来場はご遠慮ください。

見学カードにご記入いただくか、名刺を提供いただけます。

公開会場以外の撮影は厳禁です。

詳細や地図はこちらをご覧ください。

<https://www.tachihi.co.jp/>

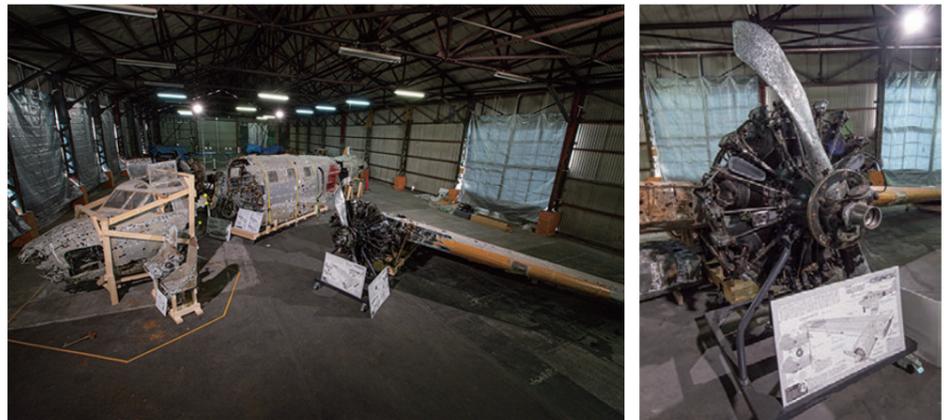
2021/09/06/issihiki/



立飛HDに里帰りした様子(2020年11月)



一般公開に向けて準備作業中(2021年9月撮影)

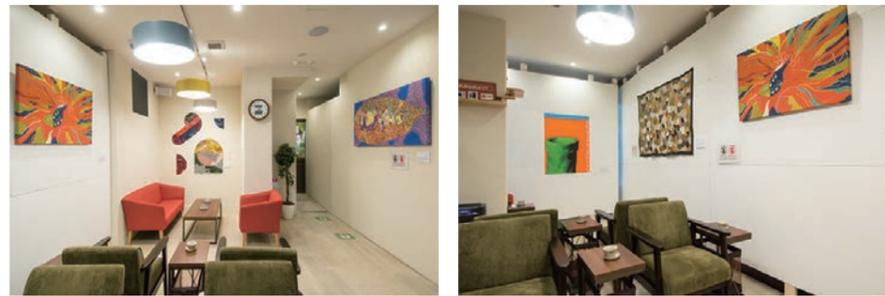


青森県三沢航空科学館で展示している様子(2016年7月 撮影：立飛HD) 一式双発高等練習機の模型



JTのひとときギャラリー

以前このコーナーでご紹介した錦町にある「ひととき喫煙所」。日本たばこ産業さんが運営している、夏は涼しく冬暖かい快適空間です。地域に貢献するというコンセプトで作られた空間ですから、ギャラリーにもなります。9月は19日まで、東京造形大学の学生さんの作品が展示されていました。展示スペースが広いので、大きなタペストリーも飾ることができます。ここで街の情報を交換・共有していくことも可能です。使い方次第では利用価値の高い空間になるかもしれませんね。えくてびあんも置いてあります。



今月の表紙、別カット

中秋の名月が満月になったのは8年ぶりだったそうです。表紙の写真の続きがこちら。街を見下ろしながら、徐々に昇っていく月です。月が昇るにつれて、月の大きさが小さくなります。



表紙

地平の月

『地平の月はなぜ大きいのか(芋阪良二著)』という本があります。著者の芋阪先生は、『天体錯視の研究』という論文で東京大学文学博士になられた心理学の先生です。古代からこの謎の解明にとりつかれた人たちがたくさんいたそうですが、月が大きく見えるのは目の錯覚で、地平にあっても天上にあっても月の大きさは同じなのです。当然と言えば当然ですが、でも、大きく見えます。同様によく「今日のハロ(日量)はとても大きい」と聞きます。これも目の錯覚。ハロの大きさは決まっている、のだそうです。でも、大きく見えます。対象物があると大きく見えるというのはその通り。東京タワーと一緒に撮ると、こんなに月は大きいのです。ですから、見えているように大きく月を撮影してと頼むと、カメラマンはこうして対象物を入れてきます。東京タワーに六本木や渋谷のビル。偶然にもランドマークが写りこみました。

かたこと

◆緊急事態宣言の解除です。9月末、どのお店も仕入れの状況を確認、アルバイトの手配など、再開の準備に忙しそうでした。お客様もじわっと戻ってくるのかな◆実際に顔を合わせる、会うということは大事なのだと、コロナでよくわかったことでした。オンラインもいいけれど、会った方が気持ちに通じる、話が早いということ、ありませんか。今回の統数研 榎所長はリモート取材でした。初対面ですから不安がいっぱい。でも、所長のお人柄でうまく乗り越えることができました。統計は面白い!取材後の感想です。冬休みに子ども見学デーを予定されているのだとか。オンラインですから日本全国、どこからでも訪問できます。ぜひ!◆無門庵、解体が始まっています。立飛HDさんは、その歴史を重く見て、若くして国のために命を捧げた人たちの魂を慰めるべく解体安全祈願祭を行いました。宿場町ではなかった立川も、鉄道が敷かれてからは歴史が折り重なって今を迎えています。自分たちの立っている場所を知ること大事かもしれません◆第6波は必ず来ると言われています。体の健康は心の健康から。高い空、澄んだ風、まずは心元気に、秋の立川を楽しみましょう!

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん®

11月号 第38巻 通巻440号

令和3年11月1日発行

発行 有限会社えくてびあん

〒190-0023

東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F

TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

E-mail message@tamatebakonet.jp

URL <https://www.tamatebakonet.jp>

発行人 黒須 環

企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ

デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)

印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

魅力発信！西砂川地区



9月28日の懇談会の様子

西砂循環バスの便が激減したことで、西砂町住民の暮らしがとて不便になりました。西砂町の交通不便解消を求める会が発足、立川市議会に陳情書が提出され採択されました。が、そう簡単に交通不便が解消されるわけではありません。道のりは遠い。そこで、赤字路線を黒字路線に変えていこうじゃないかという発案から、西砂町を盛り上げて来街者を増やしていくと取り組みの方向を修正。「魅力ある西砂川地区へ」と名称を決めて、この主旨に賛同して協力、核になる方々が集まって話し合いを進めています。写真は9月28日、西砂学習館で行われた懇談会の様子です。自治連西砂支部、第6地区民生委員児童委員協議会、第6地区会長、社会福祉法人 櫻会（西砂ホーム）、かみすな地域包括支援センター、にしすな福祉相談センター、立川市社会福祉協議会、西砂学習館運営協議会会長、立川市役所からは高齢福祉課が参加。盛り上がりを見せていました。WestWave立川の活動や既存の団体など、まだまだ連携先がありそうです。農業だけでなく、伝統や文化に裏打ちされた地域です。おいしいものもたくさんあるし、子育て環境も充実してきています。魅力を自ら再発見。多くの方が「行ってみたい」と思う街づくりへと、力強い活動が始まりました。



減便されたバスの路線

地域で共に生きていく

10月30日（土）の午後1時半から4時まで、立川市女性総合センター・アイムホールで開催される第17回立川市地域福祉市民フォーラムのご案内です。参加は無料で、先着順の70名が定員。毎年行われていますが、今回は「住まい」がテーマ。立川市が元気であるためのヒントを一緒に探し、自分事として考えるきっかけへと話を進めていきます。聴講、参加ご希望の方は、当日直接会場へどうぞ。

第17回 立川市地域福祉市民フォーラム（ちよこっとボランティア全体研修）

たちかわしが元気であるために
住まうまちから住み分けられるまちへ

地域で共に生きていく

～住まい～

本フォーラムは、立川市が元気であるためのヒントを一緒に探し、自分事として考えるきっかけとなることを願い、毎年開催しています。
今年度は、「住まい」についてスポットをあて、様々な側面から「地域で共に生きていく」ことを考えます。

日時 2021年10月30日（土）午後1時30分～4時00分
（午後1時開場）

会場 立川市女性総合センター・アイムホール
（立川市高野町2-36-2 1階）

定員 70名
※参加費無料、先着順（申込不要）
※手話通訳、車椅子専用席あり

講演会 「地域で共に生きていく ～住まい～」
講師：高齢福祉課 小平 真弓氏
居住支援協議会 松田 朗氏

討論会 「みんなで考えるすまいのバリエーション」
コーディネーター：高齢者住まい相談室こたつ
大野 貴重氏

登壇者：居住支援協議会 松田 朗氏
立川市警察協会 森山 泰文氏
ファイナンシャルプランナー 向藤原 真氏
にしすな福祉相談センター 大原 郷治氏

※本フォーラムは、立川市が元気であるためのヒントを一緒に探し、自分事として考えるきっかけとなることを願い、毎年開催しています。
※当日10時までに、立川市女性総合センター・アイムホールに集合してください。

【注】電話予約：立川市社会福祉協議会・立川市地域福祉支援センター・立川市福祉協議センター
〒201-8545 立川市南郷町4-1-1 立川市福祉協議センター 電話：0426-928111 FAX：0426-928118